

世界農業遺産・日本農業遺産

topic
01

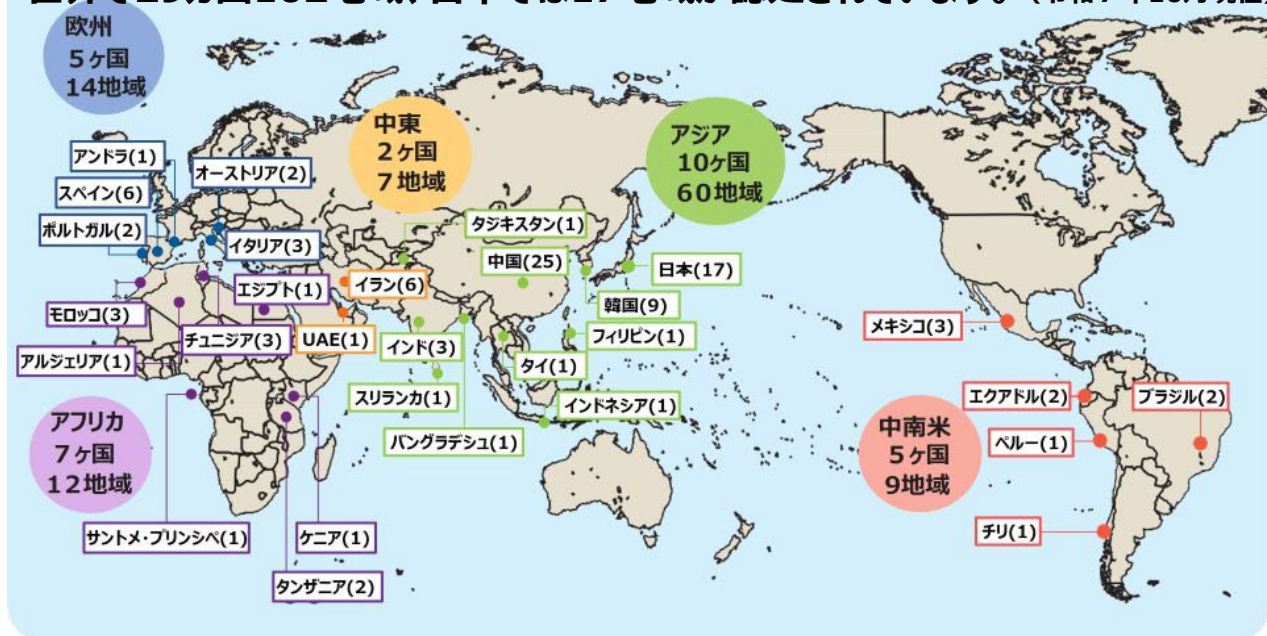
世界農業遺産とは

世界農業遺産とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、**世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域**を、**国際連合食糧農業機関（F A O）が認定**するもので、2002年に創設されました。

topic
02

世界農業遺産認定地域

世界で29カ国102地域、日本では17地域が認定されています。（令和7年10月現在）



topic
03

国内の世界農業遺産認定地域

（令和7年10月現在）



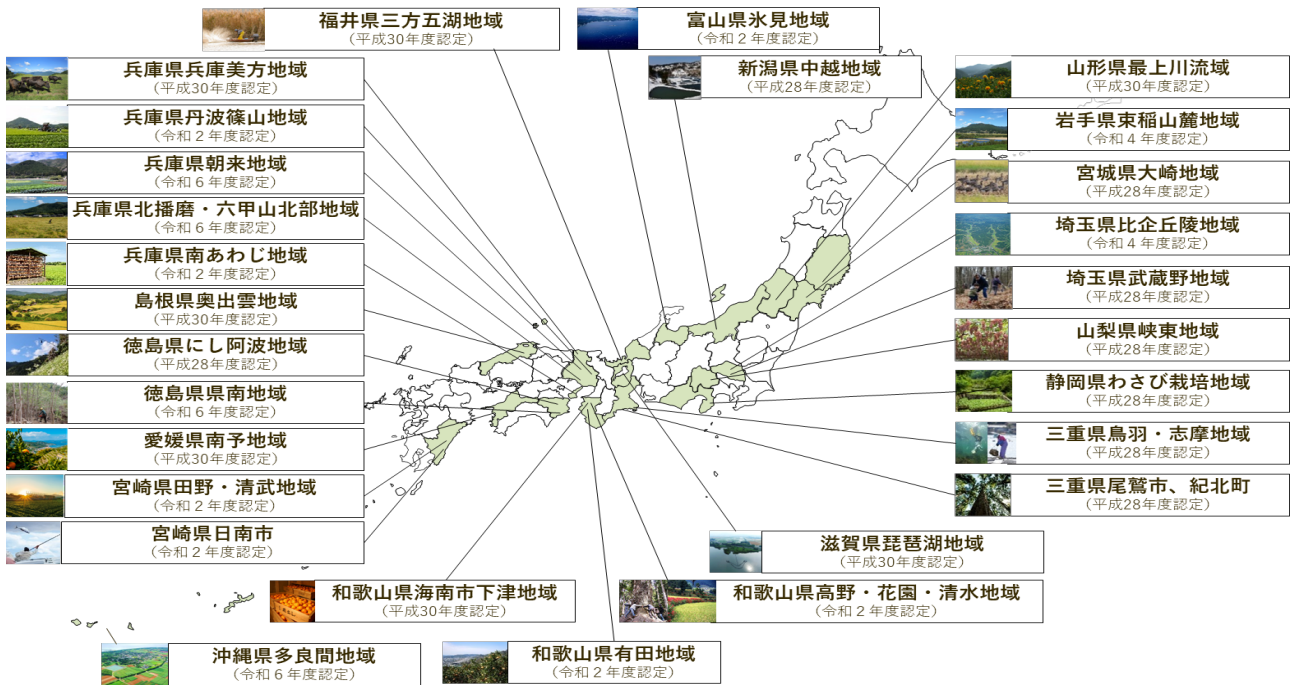
日本農業遺産とは

日本農業遺産は、我が国において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を農林水産大臣が認定するもので、2016年に創設されました。

✳日本農業遺産は、先進国としての問題意識に基づく認定を行うため、世界農業遺産の認定基準に準拠しつつ、**日本独自に定めた3つの基準（変化に対する回復力・多様な主体の参加・6次産業化の推進）**を加えた認定基準に基づき、我が国において次世代に継承すべき重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を認定するものです。

日本農業遺産認定地域

日本農業遺産は、現在、28地域が認定されています。（令和7年10月現在）



世界農業遺産と日本農業遺産の認定基準

世界農業遺産及び日本農業遺産 共通の認定基準

- | | | | |
|-----------------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 1. 食料及び生計の保障 | 2. 農業生物多様性 | 3. 地域の伝統的な知識システム | 4. 文化、価値観及び社会組織 |
| 5. ランドスケープ及びシースケープの特徴 | 6. 変化に対するレジリエンス | 7. 多様な主体の参画 | 8. 6次産業化の推進 |

日本農業遺産のみの認定基準

✳ 農業遺産認定地域の取組は、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にも大きく貢献します。

